

きりのひあら

(3) 及村論の破綻の根本は政治乃至社會と經濟系対立的排他的下考察されて居るからである。従てまた經濟開発と政治開発との対立分離が生ずる。かくして組合運動の職分は經濟開発の範囲に局限され左より一規定され婦人労働者の問題は所謂大都市の特殊事情在名社會關係上基づいて組合運動の領域に於ける問題にすり得ない。

毛川故に及村論者か婦人労働者の問題に対する特殊事情の存在を認めたれば村する特別の任務の必要を力説しあがらし遂に具体的な政策や方法を例へ僅少ありとも積極的に示し得手いほどの考である。そこで及村論者による婦人の特殊事情はた、觀念的に認められて居た